

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	輸血・移植検査学(Laboratory Medicine in Transfusion and Transplantation)		
ナンバリングコード	S20324	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床検査学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S008451	クラス名	-
担当教員名	松井 智浩		
履修上の注意、 履修条件	受講に際しては受け身にならずに教科書や関係する書籍を読み、予習・復習を行うこと。分からないことがあれば、自主的に質問するなどして必ず解決しておくこと。 臨床検査学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	最新臨床検査学講座 免疫検査学/輸血・移植検査学 第2版(窪田哲朗他編、医歯薬出版株式会社)		
参考文献及び指定図書	臨床検査知識の整理 臨床免疫学(医歯薬出版株式会社) 輸血・移植検査技術教本(丸善出版)、臨床検査技師国家試験過去問題集(各出版社)		
関連科目	免疫学、免疫検査学		

○基本情報		
授業の目的	輸血医療、臓器移植医療の分野で輸血移植検査は臨床的にも社会的にも重要な検査であることを理解し、それらを行うための基本的知識を修得する。 1.輸血や臓器移植の副作用について説明できる。 2.血液型(ABO型およびRh型)検査の臨床的意義を説明できる。 3.不規則抗体の臨床的意義およびその検査法や消去法を説明できる。 4.交差適合試験を論理的に説明できる。 5.移植に関わる拒絶反応、HLAおよび移植の検査法について説明することができる。 6.母児不適合妊娠とその検査法を説明できる。	
	輸血・移植医療の臨床的意義やそのための検査学を理解する。輸血を安全に施行するため、成分輸血療法の意義と適応、輸血に伴う副作用・合併症および輸血血液の保存と管理法を理解する。また、輸血前検査のABO・Rh血液型、不規則抗体検査、抗体同定検査、交差適合試験の他、母児不適合妊娠時の検査を理解する。更に、移植医療(特に、骨髄移植や造血幹細胞移植)の臨床的意義および移植拒絶反応を理解し、移植前検査としてHLAタイピングについて修得する。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	②幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	80点		10点
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】	④日々進歩を続ける医療機器、医療技術を理解し、医療の高度化、情報化に対応したデータやデジタルを活用できる力を身に付けている。	5点		5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○定期試験(85%)、授業態度(15%)により総合的に評価する。 ○定期試験は、国家試験形式とする。 ○授業態度は、私語や居眠り、スマホ使用等は減点する。 ○試験結果は、後日個別に知らせる。	

○その他	
質問に来る際は、必ず勉強した上で、具体的な質問をすること。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	輸血・移植検査学 (Laboratory Medicine in Transfusion and Tr 松井 智浩	授業コード S008451
学修内容			
1. 輸血・移植学の概要と意義 輸血事業の現状、移植の現状について学習する。			
予習	シラバスの確認と教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
2. 輸血に関わる血液型の概要1 血液型の遺伝について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
3. 輸血に関わる血液型の概要2 ABO血液型について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
4. 輸血に関わる血液型の概要3 Rh型血液型について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
5. 輸血に関わる血液型の概要4 その他の血液型について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
6. 血液型検査法1 ABO血液型の検査法について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
7. 血液型検査法2 ABO亜型の検査法について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間
8. 血液型検査法3 Rh型血液型の検査法について学習する。			
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。		約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。		約2時間

○授業計画		科目名	輸血・移植検査学 (Laboratory Medicine in Transfusion and Tr	授業コード	S008451
		担当教員	松井 智浩		
学修内容					
9. 血液型検査法4					
不規則抗体スクリーニング検査法について学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
10. 血液型検査法5					
不規則抗体同定検査法および消去法について学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
11. 血液型検査法6					
交差適合試験について学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
12. 輸血検査の実際の流れ					
血液型検査から不規則抗体検査および交差適合試験までの流れを学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
13. 移植免疫と拒絶反応					
GVHD (移植片対宿主病)について学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
14. 移植に関わる検査法					
HLA検査法について学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
15. 母児不適合妊娠					
Rh不適合妊娠とその検査法について学習する。					
予習	配布プリントと教科書の講義内容に該当する箇所をよく読んでおく。				約2時間
復習	講義内容をノートにまとめる。分からなかったところは、参考書などで調べて自己解決に努めること。				約2時間
16. 期末試験					
予習					約2時間
復習					約2時間